

私語への注意

1 はじめに

中学校の若い教員から、「私語を注意しようと思うが、その生徒との人間関係が崩れないか心配で、躊躇してしまう。」という話を聞きました。その時の対応を考えました。

2 注意の仕方(言い方)

A案

「静かにして」と全体に呼びかけたら、とにかく待つ。静かになるまでずっと待つ。

待っているとき、私語をしている人の方をずっと見ているという方法もある。

全員ができれば「(協力してくれて)ありがとう」と言うこともある。

人権やいじめに関する事、進路に関する事など、特に大切な(重大な)話をするときは、

「両手は両膝にのせて、姿勢を正して、私の顔を見て(こちらを見て)」と指示する。

とにかく待つ。全員ができるまで待つ。

B案

「～さん、話がしにくいから、私語を止めて」

私語が止まったら、「(協力してくれて)ありがとう」と言うこともある。

C案

「～さん、何か困っていることがありますか？」

「ない」ということなら、この言葉がけで私語が止まるはず。

止まらなければ、もう一度聞き、「ない」ということであれば、「私語はしません」と言う。

「ある」ということなら、困りごとを一緒に解決する。

3 おわりに

注意の方法をいろいろ知っていると良いと思います。使い分けることができます。